

ポリピック洗浄方法に関する特記仕様書

平成 12 年 10 月 1 日

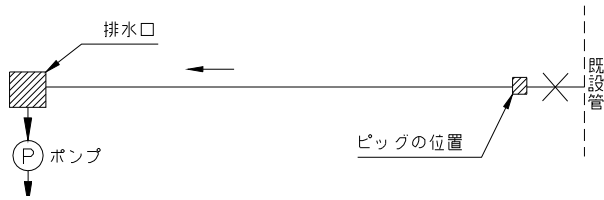
請負人は、ポリピック洗浄工を行なう場合は、設計図書に基づき行なわなければならない。

なお、ポリピック洗浄の方法は次頁によるがこれによりがたい場合は、監督員と協議し指示を得ること。

ポリピックの挿入場所及び洗浄方法

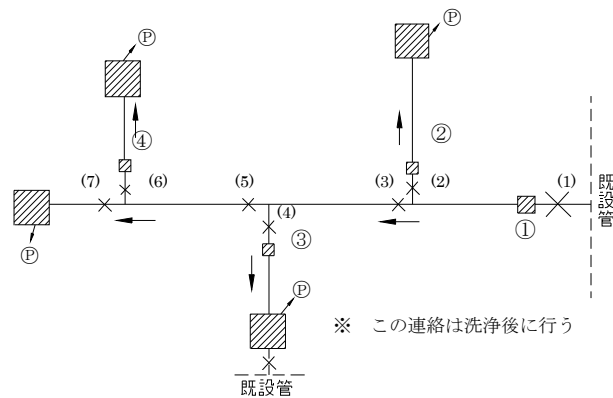
「ポリピック」の挿入場所及洗浄方法

例1 支管のない場合



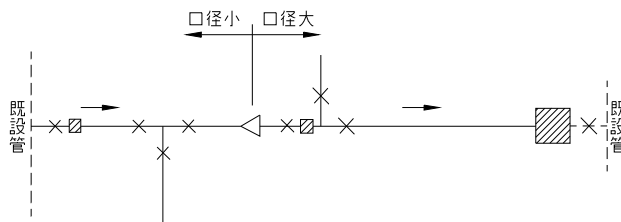
- 1 バルブを序々に開け、ピッグ背圧が 1 kg/cm^2 前後になればピッグは前進する。
- 2 排水は排水口よりポンプにて汲み出す。
- 3 $\phi 200 \sim 500\text{m}$ を例にとれば、ピッグが排水口に到達するまでの時間は 10 分間前後である。(0.83m/sec)

例2 支管のある場合



- 1 バルブ(2)、(4)、(6)を閉め、(3)、(5)、(7)を開ける。
- 2 バルブ(1)を序々に開けピッグ①を前進させ、本線の洗浄を完了させる。
- 3 バルブ(3)を閉め、(1)を開け、(2)を序々に開けてピッグ②を前進させる。
- 4 バルブ(2)、(5)を閉め(3)を開け(4)を序々に開けてピッグ③を前進させる。
- 5 以下同様手順で行い全線を完了させる。

例3 途中で口径が異なる場合



- 1 この場合には必ず小口径より大口径に向かってピッグが進行するようにしなければならない。
- 2 ピッグはそれぞれの口径に必要なものである。
- 3 方法は例1、例2に準ずる。